

東日本大震災について

被災者の皆さん、行政・NPO・NGOの皆さんへ
当社の浄水剤は以下の用途に利用出来ます。

生活用水確保

- 1 バケツ、ドラム缶、タンク等に池や川の濁水を入れ、適量の浄化剤を投入して、約二分間棒などで勢いよく攪拌しますと、水中の不純物が凝集し沈殿（油分、脂肪分などが多ければ浮上）します。上水だけを、別のタンクに布、あるいはきれいな砂でろ過すれば、透明で清潔な水が得られます。
水温が5℃以下の場合には反応が遅くなります。塩水の淡水化は出来ません。
飲料水、料理用水に利用される場合は、原水中の有害物質で除去できない水質もあります。
池や川に生物が泳いでいる水を目安にご利用ください。
飲料水としては煮沸など、殺菌が必要です。

- 2 避難先の学校のプール（5～600t）は一日で浄化出来ます。
特別な機材は不要です。生活用水、特に洗髪、風呂に利用出来ます。

以上は当社が直ぐに行動できる事です。

3週間あれば次の装置を設置出来ます。

1. プール、河川、池の水を利用した飲料水適合浄水装置の設置。
一日30トン浄水可能な装置で約2～300万円必要です。水質はWHOガイドラインに適合しています。電源が供給されていなければ、発電機を利用します。
その他に、ソーラーを利用する方法もあります。
(ソーラー利用の場合は処理量が半減します。)
2. プールサイドのシャワー室を利用し、温水シャワーが可能です。

日本ポリゲルは、阪神大震災で被災者の経験をしています。被災者の皆さんのご苦勞は良くわかります。何とか、お力になればと思っていますが被災地があまりにも広範囲でどう動けばよいのか、ただ焦るばかりです。既に、当社と技術提携しているパシフィックコンサルタンツ社、私が顧問をしているIVUSA(国際ボランティア学生協会)は現地に入って活動を始めました。

当社の技術がお役に立てるなら何でも致します。ご提案・協働のご意向があれば、本社総務部宛にメールでお伝えください。

この苦難をオールジャパンで乗り越え、また、オールジャパンで当社が主張するBOPビジネスに取組み、再び日本を復活させましょう。